

第3回特許翻訳上級アドバンスト コース(東京)

講師陣

弁理士、有原幸一先生

(久遠特許事務所副所長)
千葉大学理学部化学科卒
昭和63年弁理士登録、日本弁理士会
元常議員、国際知的財産保護協会
(AIPPI)会員、エイバック特許翻訳上
級コース常任講師、日本弁理士会研
修所副所長

米国特許弁護士

Joseph P. Farrar先生

(オリオンコンサルティング有限会社代
表取締役)、ニューヨーク州弁護士登
録1996、米特許商標登録2003
AIPLA会員
エイバック特許翻訳上級コース講師
知的財産翻訳検定試験委員会会員

英語のわかる日本人弁理士と日本語のわかる米国人特許弁護士の2人の講師陣が共同/同時に添削および演習を行います

本コースには、原文となる、英文明細書又は日本文明細書の書き振りを、それぞれ米国人弁理士又は日本人弁理士の立場から、必要に応じて解析することが含まれています。日本語のわかる米国人特許弁護士と、英語のわかる日本人弁理士が同時に講師を務めるという特異な環境下、レクチャーが進行します。全2回のコースを通じて、特許翻訳上想定されるさまざまな課題について、候補となる解決策の「pros and cons (是非)」を論じ合います。

英日翻訳について1回、日英翻訳について1回、全2回行うこととしています。翻訳者の方にとっては、特許翻訳の技量に加え、特許翻訳のあるべき姿をより深く学ぶ機会となることを企図しています。また、弁理士の方にとっては、外国出願業務の柱となる明細書の翻訳について、その要諦を確認する場となるように企画しています。

取得単位:6単位/ この研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を受けています。この研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として6単位が認められます。

[注意事項] 15分以上の遅刻をした場合には、受講したものと認められません。公共交通機関等の遅延、自己の行為に起因しない理由であっても、受講したものと認められませんので、時間に余裕をもって会場にお越しください。また、中座、早退の場合については、時間にかかわらず、受講したものと認められません。

受講対象者 特許翻訳の仕事に既に従事、フリーランスで仕事をしている方、弁理士の方、発注者の立場から作品を見極める方

開催日時 平成24年、東京12月8日(土)、15日(土)、13:15~16:45pm 2日/2回、計7時間

申込区分 事前に課題の提出と添削・演習を受ける方、演習授業を聴講する方(質問可)

演習・受講の方法	添削・演習受講者には予め課題(宿題)をメールで提出していただきます。提出された課題を添削し、演習の材料とする予定です(個人名は出しません)。	聴講受講者は課題の提出はありません。添削・講評資料を配布、演習に参加と質問も出来ます。
受講料	(一般)、38000円 (修了生)34000円 (消費税別)	28000円 (消費税別)

課題技術分野 電気(化学の要素含む)を扱います。定員 添削演習受講8名(先着順) 演習聴講8名

会場 東京:中央大学駿河台記念館(千代田区神田駿河台)または(株)エイバックズーム内

申込期限 東京11月26日(月)、メールまたはFAXで受付後、お支払いのご案内及び教材と課題の発送をいたします。

コース2回の概要

日時(曜)	演習の対象	課題提出の範囲	授業・演習の内容	担当講師
12月8日(土) 13:15-16:45	英文和訳	例題1の明細書部分を課題とします	事前に、有原・ファラー両講師個別の視点から添削・講評が加えられ、更に演習では両講師・受講者で次の論点を議論します。 1. 原文を読み解く法<代理人はいかに明細書を読み解くか> 2. 代理人から見た翻訳者が許される訳文作成の許容範囲と考え方 3. 代理人が作品を見る重要なチェックポイント 4. 後工程に親切的な翻訳姿勢と納品方法	有原、ファラー
		例題1のClaim(s)を課題とします		
12月15日(土) 13:15-16:45	和文英訳	例題2の明細書部分を課題とします		ファラー、有原
		例題2のClaim(s)を課題とします		

特許翻訳上級アドバンスト コース 2012年12月開講 申込書

お申込はFAXで FAX 03-3292-2701 (株)エイバックズーム

右コースの受講を申し込みます。		受講申込区分に (消費税別)	実施日、会場/東京
氏名	印	(添削・演習) 38000円 () (修了生割引) 34000円 () 特許翻訳上級、中間処理翻訳、明細書・意見書	初日:12月8日(土) 2日目:12月15日(土)
(弁理士の方:登録番号:)	(演習聴講) 28000円 ()	
(資料等送付先) 会社・事務所名:			
住所(〒)			
TEL	FAX	(必須) E-mail	